2月4日(火)に物質・材料研究機構 桜地区において「材料分析技術としての固体NMRに期待すること」をテーマとし、微細構造解析プラットフォーム 2013 年度第3回地域セミナーが開催されました。

研究棟大会議室にて行われた講演会では、大学で固体NMR装置を利用または共同利用している研究者(3名)と民間で固体NMR装置の開発に携わっている研究者(2名)を講師としてお招きし、個々の機関では整備するのが難しい固体NMR装置について、材料分析技術として現在使われている様々な応用例の紹介や、現在行われている装置の開発や整備の結果今後期待される固体NMR装置の応用への期待を中心にご紹介いただきました。





【桜地区で行われた講演会の様子】

また講演終了後に最近第2NMR実験棟に整備された800MHz固体NMR装置等の見学を行うラボッアーを行いました。

当日は雪が降る寒い1日でしたが、固体NMR利用への熱い期待を募らせる、大変盛況な集いとなりました。聴講者は21名でした。